

S-Techno-Factory

代表取締役 酒井 貴之



無人機とロボット技術で社会課題の解決に挑む



◀ ドローン



遠隔操作で動かす
車両ロボット ▶

創業のきっかけ・想い

昨今、「人手不足」や夏場の高温による熱中症、耕作地への害獣被害など、さまざまな社会課題が深刻化しています。こうした課題の解決に、ロボットや無人機の活用が役立つのではないかと考えたことが、研究・開発に取り組みきっかけとなりました。

これまで培ってきた技術と知見を生かし、無人機やロボットの開発を通じて社会課題の解決に貢献したいと考えています。

ロボットの製作には加工機器の音や振動を伴う作業も多く、住宅地では難しい場合があります。その点、さやまインキュベーションセンターは工業団地内に位置しており、安心して研究・開発に取り組める環境が整っています。今後も、ものづくり企業が活躍できる場として発展していくことを期待しています。

今後の展望

日本や世界には多くの課題が存在しています。そうした課題の解決に向け、さまざまな現場に足を運び、無人機やロボットの開発を通じて社会の課題解決に取り組んでいきたいと考えています。

今後は、AIやDXと連携したロボット・無人機の開発を進め、「人の作業に代わる」「人と協働する」技術として、労働負担の軽減や作業の省力化に貢献していきます。

事業内容

自動車業界、ゼネコン業界、官公庁施設、農林水産分野などにおける業務改善を目的として、無人機（ドローン・無人車両・ロボット等）の開発や実験サポートを行っています。

研究・開発内容

各業界において「人手不足」や「業務の安全確保・効率化」が課題となる中、ドローンの制御技術を応用し、車両やボートなどの無人機を活用した計測や作業支援に関する研究・開発を行っています。

計測したデータはクラウドにアップロードし、作業効率の向上を図るとともに、危険箇所での作業をロボットで代替することで、安全な場所から遠隔操作による作業を可能にします。

これらの無人機やロボットを、各分野のニーズに合わせて製作・提供しています。

強み・特徴

- ✓ 現場ニーズに応えるオーダーメイド開発
ドローン、車両、ボートなどの無人機を用途に応じて開発。協力会社との連携により、部品や電子機器の調達からネットワーク構築、UI開発まで幅広い技術体制を構築しています。

S-Techno-Factory

研究室責任者
入居期間
本社所在地

代表取締役 酒井 貴之
2019年11月～2026年10月
〒350-1328
埼玉県狭山市広瀬台2-16-15
さやまインキュベーションセンター-21

▼ ボート（無人機）

